

客先	ガラス再資源化協議会（GRCJ） 殿	 NGK 株式会社
会議名	廃棄がいしのリサイクル及び廃ガラス等リサイクル原料使用の水素化処理触媒の意見交換	
日時	2026/06/2 13:30 ～ 16:00	
場所	NGK 名古屋本社 DIVERS	
出席者 (敬称略)	ガラス再資源化協議会 代表理事 加藤聡 様 顧問 野口裕司 様 株式会社アビツ 取締役 事業本部長 佐野拓也 様 事業本部 事業推進部 副部長 田畑誠 様 丸美陶料株式会社 営業部 営業 2 課 係長 横井良亮 様 前田 様 富士通株式会社 クロスインダストリーソリューション事業本部 マネージャー 溝淵真名武様 NGK 株式会社 NV 推進本部 事業構想 1 部長 大池崇博 事業構想 2 マネージャー 丹羽孝介 エンバイロメント事業本部 センサ事業部 部長 中曽根修 エネルギー & インダストリー事業本部 ガイシ事業部 製造技術 G グループマネージャー 田中 雄太 技術 G マネージャー 前田 元宏 ガイシ営業部 マネージャー 稲田 左右吉	

【概要】

ガラス再資源化協議会様、協会関係企業様に NGK 名古屋本社 DIVERS にご来社頂き、
廃棄がいしのリサイクル及び廃ガラス等リサイクル原料使用の水素化処理触媒の開発について意見交換を実施。

【詳細内容】

1. 廃棄がいしのリサイクルについて

■ 吸水保水セラミックブロック CT2 の概要

- ・GRCJ 殿より吸水保水セラミックブロック CT2 サンプル 1 個と磁器粉碎セルベンをご提供いただき、現物を確認した。
- ・同製品は、道路の冠水防止および夏季の温度上昇低減に効果があり、東京都において広く採用されている。
- ・実勢価格は約 8,000 円／㎡程度。一般的なセメントブロックと比較し、高耐久・長寿命である点がメリット。
- ・CT2 の製造工程は、約 5mm に粉碎した磁器・セルベンへ繋ぎ材としてガラスを混ぜてガラス融点で焼結し固める。

■ NGK 側の廃棄物情報

- ・セルベン：約 750t／年
- ・三等粘土（磁器・釉薬スラリーの脱水物）：約 500t／年
- ・一部は引取業者へ安価で売却しているが、過剰分については産廃業者へ費用を支払って処分している状況。

■ 廃棄物の形状

- ・セルベン：磁器の塊状
- ・三等粘土：脱水後のケーキ状

■ リサイクルにおける課題

- ・セルベン：硬度が高く、粉碎・資源化にコストがかかる
- ・三等粘土：磁器・釉薬の配合比が都度変動し、成分が安定しない

■ 今後の進め方

- ・セルベンについては、吸水ブロックへの活用検討を進める
アビツ様へ少量サンプルを提供し、粉碎可否を検討頂き吸水ブロック試作品の作成を目指す。
- ・今後の展望として、吸水ブロックサンプルを DIVERS へ展示し社内外での活用検討を行う。
- ・継続的なセルベンの活用は物量等を踏まえ GRCJ 殿と継続審議する。
- ・三等粘土については、丸美陶料様へサンプルおよび過去の成分データを提供し、活用可否を検討頂く。

2. 廃ガラス等リサイクル原料使用の水素化処理触媒の開発について

- ・GRCJ 殿より、廃ガラス等のリサイクル原料を用いた水素化処理触媒開発について、石油業界の動向および再資源化製品のニーズに関するご説明を頂いた。
- ・NGK からは、既存の自動車用触媒セラミックス担体との形状の違いや、新規事業検討における考え方について説明を行った。

以上